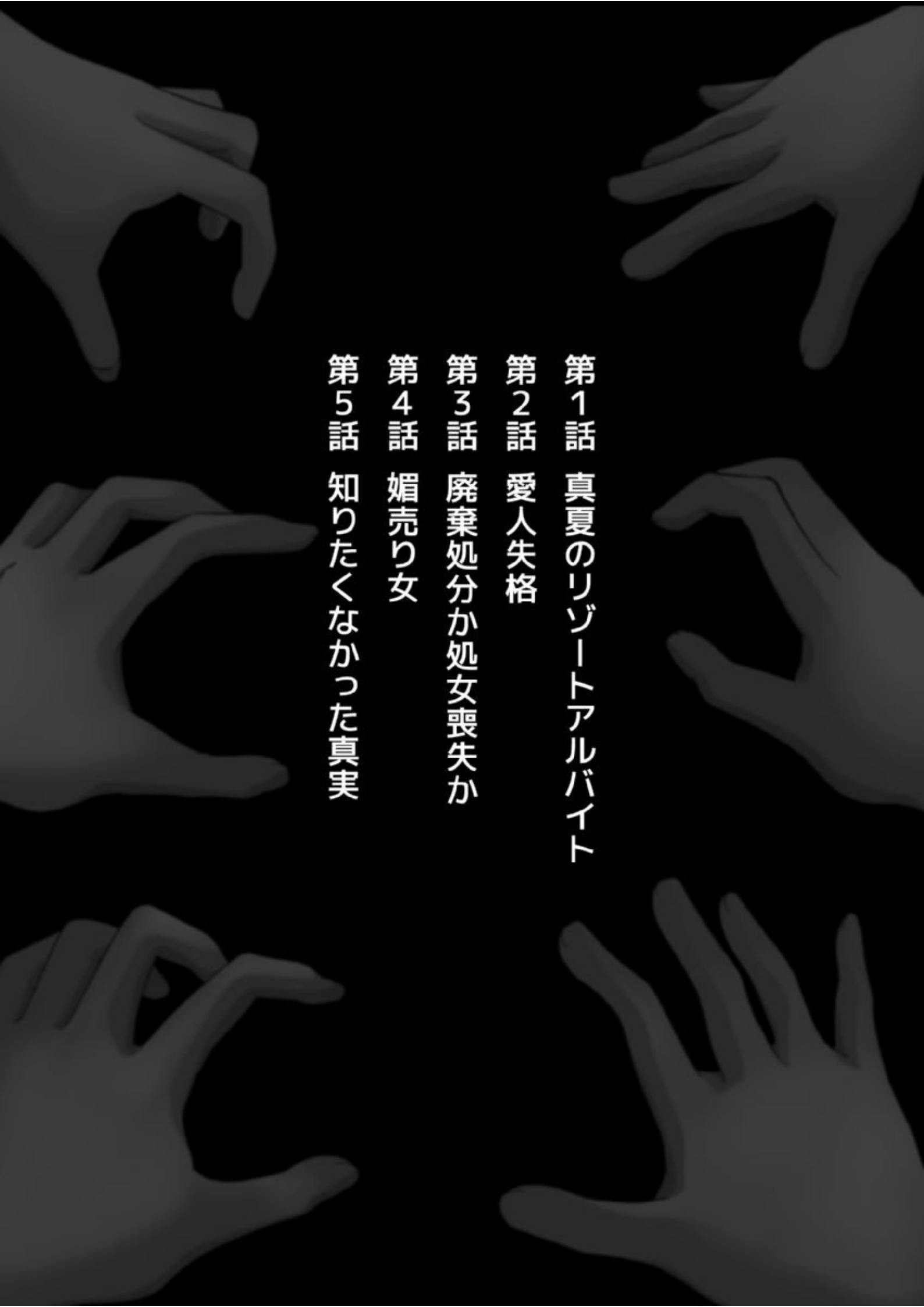
おもちゃ
島
～地獄の選考会～
綾乃るみ
成年版



第1話　真夏のリゾートアルバイト
第2話　愛人失格
第3話　廃棄処分か処女喪失か
第4話　媚売り女
第5話　知りたくなかった真実

おもちゃ育成島

地獄の選考会

第１話
真夏のリゾートアルバイト

あの日…
私達は大学生になって
初めての夏休みを
迎えようとしていた

ねェ！
このバイトは？

キャンペーン
ガールだって♪
カワイイ制服も
着れるみたいだよ～

蒼井小梅（あおいこうめ）

よく見なよ小梅
募集人数2人って
書いてんじゃん

こっちのイベント撤去のが
いーじゃん！
時給1500円もあるよ！

紅野（こうの）あやの

え～…ゆり
そーゆーのヤダ

爪割れるしィ…

桃園百合菜（ももぞのゆりな）

皆一緒にバイトって…
難しそうですね…

白崎（しろさき）スミレ

バイト探してるの？
あっ桜子！
そーなの…
折角の夏休みだから
皆でやりたいん
だけどねー
ちょうど
よかった！
私伯父さんの家で
バイトする事に
なったんだけど…
人手が全然足りない
みたいなの…
皆で行かない？
くろかわさくらこ
黒川桜子
家？
お店でも
やってるの？
あえっと…
チョット特殊
なんだケド
私の伯父さん資産家でね
島を1つ買い取って
そこに屋敷を建てて
暮らしてるの
でもメイドさんが急に
何人か辞めちゃって…
夏休みの間だけでも
手伝ってほしいって
頼まれてるの
ちなみに日給
1人3万出すって
さっ…!?
ガタッ
夏の島…
豪邸でメイドさん…
日給3万円…

やるー！
やるやる!!
めっちゃオイシイバイトじゃん！
絶対やる！
そ…そうよかった
この夏はセレブの島でメイドさんだーッ♪
お―ッ！
あ…て事は
水着持ってっていーかな？
バカ遊びじゃないんだから
夏休みの間陽介に会えなくなっちゃうんだ…
島の豪邸で住み込みのバイト!?
なんかすごいな…ソレ
うん…だから夏休み中は陽介と会えそうにないの…
え～…

ごめん…友達と約束しちゃったんだ…
怒ってる…よね？
しょーがないな…
その代わり夏休みの分まで小梅のコト触らせて
陽介…
は…っ
ちゅっ
あ…
はっ…んむ…
にゅるッ
ちゅく
ちゅく
え…陽介…？
ぽふっ
今日は…いいよな？俺…小梅が欲しいよ

陽介…あッッ
れろォ
ピチャ
ふにゅッ
ぐぐッ
待ッ… やんッ
や…まだ…
ダメ…だよ…っ
大丈夫…
優しくするから
ダメ――ッ!!
ドーンッ
ごっごめんね
私まだこういうの…
恥ずかしい…
……
わかった…
小悔の嫌がる事は
したくないしな…
その代わり
バイトから帰って
きたら覚悟しとけよ?

次会う時は…
今度こそ…
うん…
着いたわ
ここが伯父さんの
お屋敷よ
すっごーい!!
でっか…!
お城みたい…
わーなんか
ドキドキしてきた
早く部屋も
見たいな〜
お待ちして
おりました
アルバイトの
皆様ですね
御案内致しますので
中へどうぞ

うわー… 本物のメイドさんだァ♡
ギィ…
私らもあんな格好でお仕事するんだね
うわ～ 中も豪華～ 映画の中みたい
皆様 この度はアルバイトを引き受けてくださり有難うございます
主は多忙の為挨拶はのちほど改めて… 早速仕事に入って頂けますか
私は当屋敷の執事(バトラー)藤代と申します
ハイッ 宜しくお願いします！
では着替えをお持ちしますので…
ミーン
ミン
よーし それじゃ皆！
ミン…
がんばって…

ミーン
ミーン
ミーン
ミーン
お――…
草むしり…
しよっか…
ってか何コレ！
タンクトップと
ジャージって…
ダサッ！
こんな広い
敷地内全部
草むしりするの～？
日焼けする～ッ
ブチ
ブチ
暑い～…死ぬ～…
なんか…
思ってたのと
違う…
おや皆さん
動きが遅いですよ
この場所なんてまだ
10分の1程なんですから
ええ～～!!

あ…つかれた…
明日も草むしり？
死ぬ…
なんか晩ゴハンも
ビミョーだったよね…
セレブのくせに
精進料理
かっつ！…
あーっもぅ！
あたしこんな
バイト
やめるわ！
今から
ココ
抜けて帰る！
えっ…本気？
あやめ…
そっ…そんな
の
悪いよ
じゃあ
小梅は残れば？
あたしイチ抜けたー！
あやめが帰るなら
ゆりもー！
あの…じゃあ
私も…
どうしよう…
……

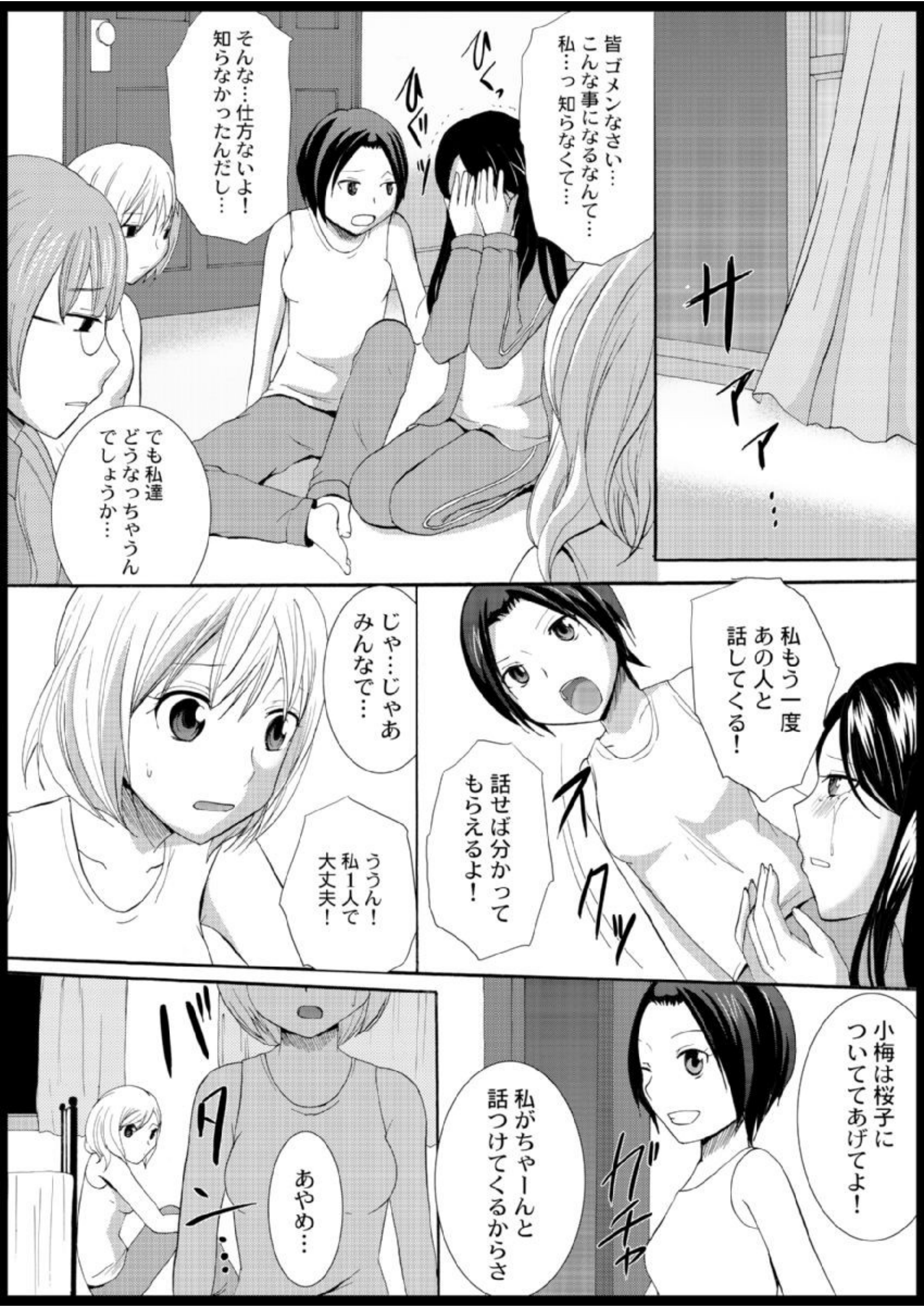
は…
んァ！
ズギュッ
ズギュッ
パンッ
パンッ
は……
ねぇ見てよ
兄貴達
ちゅぐっ
ぢゅるるッ
ん…ん…ッ
あっ…
は…！
早くっ
あらら～
初日で脱走か～
どーせ逃げても
ムダなのにな
おっ
あのコ好み！
どれ？
ショートの
気の強そうなヤツ
それじゃあまず
あのコから
いくかな…

急ご！この先の橋を渡れば船着き場まですぐだよ！
橋が…壊れてる…
!!
どうする？他の道探す？
ダメよ！
伯父さんに聞いた事あるんだけど…この辺野犬が出るらしいの
だから道を外れないほうがいいって
やっ…野犬!?
びくっ
……
戻ろうか…

ハー…また明日から草むしりかァ…
私達は知らなかった
これからもっと過酷な「仕事」が待っている事を…
アァ…
チュン…
チュン…
翌日 私達はこの屋敷の主に呼び出された
藤代でございます
入れ
失礼します

この方が当館の主
華岡恭之助様です
あれが
桜子の伯父さん？
けっこーイケてない？
しっ…
君達…昨晩この島から
逃げようとしただろう
あっ…
ビクッ
ご…ごめんなさ…
抜け出した事は
謝ります！
でもこの島なんか
おかしいですよ！
島中の橋が落ちてて
島から出られなく
なってるんです！
フッ
当然だ

私がそうさせたのだからな 君達が出られないように
!?
ここでバイトをさせる為に呼んだのでは無い本当の目的は…
ガタ…
私の愛人となるべき女を探す事だ
は…?
くれぐれも勝手に逃げないように
伯父さん! 何ソレッ… 私聞いてないっっ
え…? 何言って…
話は以上だ
どーゆー事よ! イミ分かんないし!!
皆さん出て頂けますか 旦那様はお忙しいのです


皆ゴメンなさい…
こんな事になるなんて…
私…っ 知らなくて…
ひくっ
ひぐっ
そんな…仕方ないよ！
知らなかったんだし…
でも私達
どうなっちゃうん
でしょうか…
私もう一度
あの人と
話してくる！
話せば分かって
もらえるよ！
じゃ…じゃあ
みんなで…
ううん！
私1人で
大丈夫！
小梅は桜子に
ついててあげてよ！
私がちゃーんと
話つけてくるからさ
ガチャ
あやめ…
バタン…

グスッ
グスッ
はー…この部屋
テレビも無いし
ケータイも繋がんないし…
ホンットさいあく～
携帯…！
陽介ッ…
バッ
21·40
あ…アンテナ
ひとつだけ…
『陽介…
バイト先なんかおかしいよ
私、無事に
帰れないかもしれない』
あやめさん
遅くない
ですか？
そ…そうねもう
1時間以上経つわ…

私ちょっと
様子見てくる
…とは
言ったけど…
この中広すぎ…
部屋もいっぱいあって
あやめがどこにいるか
わかんないし
ギギギ…
！
携帯…
また圏外…
怖いよ…陽介…

今…
あやめの声が…
すごいなァ…
地下まであるなんて
タン
タン
タン
あやめ…？
そろ…
ゆさ
ゆさっ
ゆさっ
あッ
ぐ…っ
あっ…あ…！
パン
パン
パン
ジュポッ
ジュポッ
あっ…っ
やめ…ッ

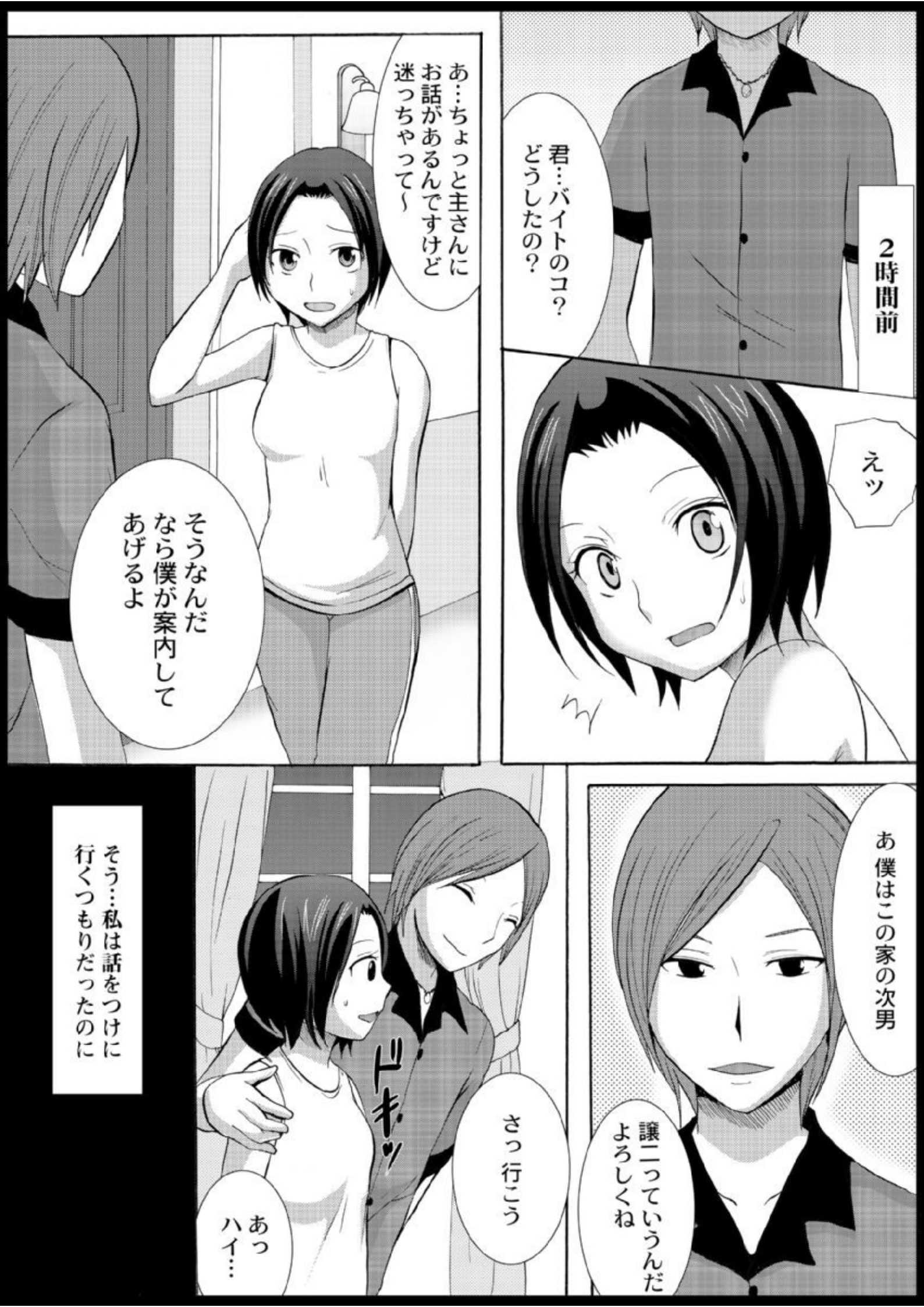
え…
んっ ぶウッ…
パーン
パーン
ズチュ
ズチュ
ズチュ
あッ
やめろっ…
てば…っ
な…なに
コレ…
はァ…っ！
あやめが…
どうして…？
んっんっんー!!
アンタ達！
こんな事して
ただじゃ…
ん―ッツ

んっんッ
んんんんー!!
へへっ…!
この女なかなか
締まりがイイな!
声が出ない…
あ…
あ…や…
あ…あやめ…
いやああ～ッ

おもちゃ育成島

地獄の選考会

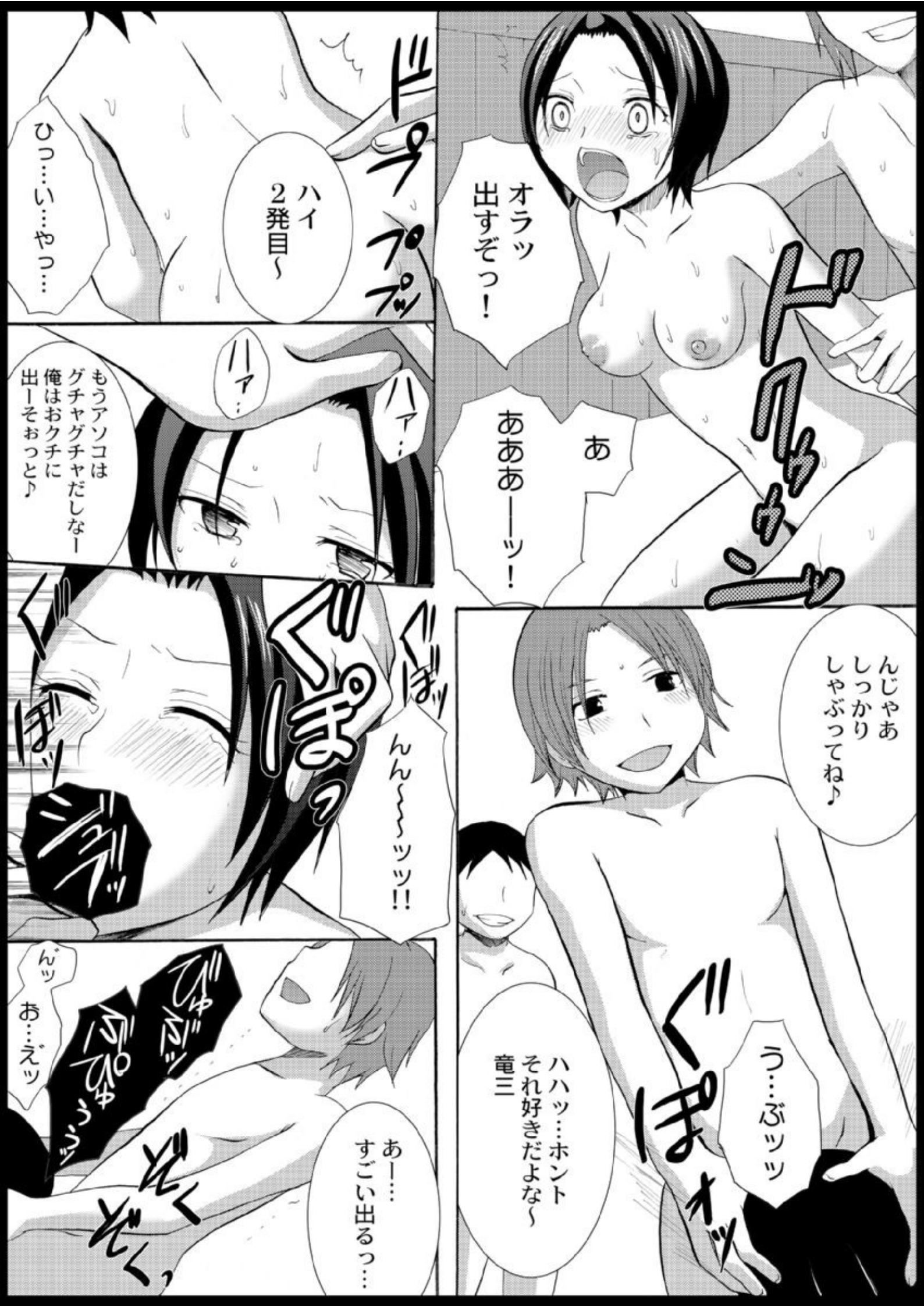
第２話
愛人失格


2時間前
君…バイトのコ？
どうしたの？
えッ
あ…ちょっと主さんに
お話があるんですけど
迷っちゃって～
そうなんだ
なら僕が案内して
あげるよ
あ 僕はこの家の次男
譲二っていうんだ
よろしくね
さっ 行こう
あっ
ハイ…
ドキッ
そう…私は話をつけに
行くつもりだったのに

どうして…こんな事に…
あっ
いつ…
やァァァ！
ゴチッ
ゴチッ
やっぱタイプだわ～このコ♡
ズッズッズッ
ホラァちゃんとおち○ち○しごいてッ
俺がもらいたいくらい♪
お父様が選んだ女じゃないと♪
ダメだよ～兄貴
づッッ…
ああっ…！俺もォイきそう♡
ハァ
ハァ
ハァ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
えっ…ちょっ…出したら承知しな…

あっ
出すなっ
やめてエエエエ！
ドドクッ
はァ…
はッ…
ハイ交代！
…ったく俺が先に
目ェつけたのに…
ふー…
ズルッ
ガクッ
ガクッ
あ…あ…
くいッ
おっ♪すげー
ドロドロ
ズッ
イウウ
あっ…
はァァアッ！
誰か助けろ
よオオーッ！
パンッ
パンッ
パンッ
いやっ…
いやっ！
やめ…ろォ
誰かっ…
びくッ

う…う…
あやめ…あやめを助けきゃ…
でも…怖いよどうしたらいいの…
ホラッ お父様にもよく見せてやんなよ！
み…見んなアアア
あ…ああっ…
コイツら全員狂ってる…
俺もいっぱいぶちまけてあげるからね
や…
やめ…


んじゃあ
しっかり
しゃぶってね♪
ぐぽぉッ
う…ぶッッ
ハハッ…ホント
それ好きだよな～
竜三
あー…
すごい出るっ…
ぐぽっ
ぐぽっ
んん～～～ッッ!!
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ

ハァ…
ハァ…
ぴくっ
ぴくっ…
あ…
キッ
絶対許さない！
こんなっ
こんな事して…
アンタ達全員
訴えてやる!!
紅野あやめ
といったか…
私は気の強い
女は好きだぞ？
くいっ
どうだ私の
愛人に
ならんか

誰がアンタなんかの！ゲス野郎!!
ぴちゃっ
…気の強い女は好きだが…下品な女は好かんな
連れて行け
ハイ
ちょっ…何…
離しなさいよォ！
痛い痛いっ！離せエエ！
あ…やめ…

嫌…っ なんなのどうなってるのここ…
早く…早く帰りたいよォ…！
ハッ
ひっ…
じり…
ッ!!
ドッ
嫌アア!!

小梅！
！
桜子…
小梅まで
戻って来ないから
心配したじゃない
桜子ォ…あやめが…
小梅！大変な
事になったわ…
皆の携帯が…！
全部…ダメに
なってます…
たまたま3人共
部屋にいない時に
やられたのよ！
ゆりシャワー浴びてたし
スミレはトイレで
外出てたし！
カチッ
カチッ

私も外の空気を吸いたくて出てたの…
それで戻ってきたらこんな事に…
あの…ところであやめさんは？
そーよォアンタ探しに行ったんじゃないの？
っ…！あやめは…
コンコンコン
主がお呼びです
え…
ピチョン
ピチョン
んーッ
ギギギ
ガチャン
っ…
んー！んー！んんんーッッ
ん——ッ

はーァ…ケータイ買ったばっかなのにィ…
小梅は自分で携帯持ってたのよね
ゴソ…
あ…うん私はここに…
えっ…あれ…?
ない…
えッ!?
あの時落としたんだ
4人を連れてまいりました
通せ

伯父さん！あやめは？
伯父さんのとこに
行ったんじゃないの!?
……
あの女か…
死んだ
は…？
死ん…えっ何言って
え…え…？
ちょっ
冗談キツ…
早くあやめ
出してよ～
ガラガラ

ガラ
ガラ
ガラ
！
待って!!
う…うそよね
あやめ…
またいつもみたいに
変なイタズラで
おどかそうと…
ふーあさっ
ひッッ…!?
小梅ッ!?
!?

あ…あ…
あやめ…が…
キャアアアッ!!
そ…「それ」
あやめなの!?
まさか殺した…?
これで
わかったろ
私のせいだ…私が
助けなかったせいで
あやめが…!
お前達も
ああなりたくなければ
おとなしく言う事を
聞くんだな
彼女達を
例の部屋へ
わかりました

全員これに着替えて
この部屋で
待ってるように
バタン
え…これ…
下着!?
わ…私
こんな恥ずかしいの
着れません!
ワガママ言ってる場合
じゃないっしょ!スミレ!
着なきゃ死ぬんだよ!?

今は…従うしかないね…
着替えは終ったか
ガチャ
…よし
ではテストを始める
ッ!?
ヴィィィ
えっ
何……

あッ
やっ！やめて！
ん――ッッ
少し
黙っていろ
離してエッ
キスなんか…したくないッッ
ん～ッ
…命が惜しければ
抵抗しない事だ
や…だ…
や…ッ

れろれろ
あ…ッ
やだァ…陽介以外にこんなコト…
嫌なのにっなんで…声…ッ
ん
んんッ
嫌ァァッ助けて陽介！
ん
ん
ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅぱっ
んふっ…
あ…
いやああッ！
お願いっやめてェッ!!
ぐにゅ
ぐにゅ
キュッ
ゴソ
ぐにゅ
ん…
く…っ
ぐちゅ
あっ…♡
んんッ!!

ちゃんと濡れてるな
えっ…!?
ん…キツいな…
ぬぷっ
ひあああッ!!
あ…
あっ…あ…
えっ…?これ指っ……?
いっ…痛いッ…
やだやだアァ!!
そんなっ…陽介にもそんなトコ…
ぬちゃぬちゃ
やだァァ！かき回さないでエ！
ぼちゃぼちゃ
あああッ
びくっびくっ
やッ…ウソイッちゃう…
いっ…あああッ♡

うぅッッ
うぅんッッ!!
ビクッ
ビクウ立
ブチュッ
ガク!
う…
うっ…う…
ガク!
なる…
ハア…
ハア…
ずる…
感度は問題ないようだな
次のテストに入る全員ひざまづけ
ハア…
ハア…
?
何を…する気?

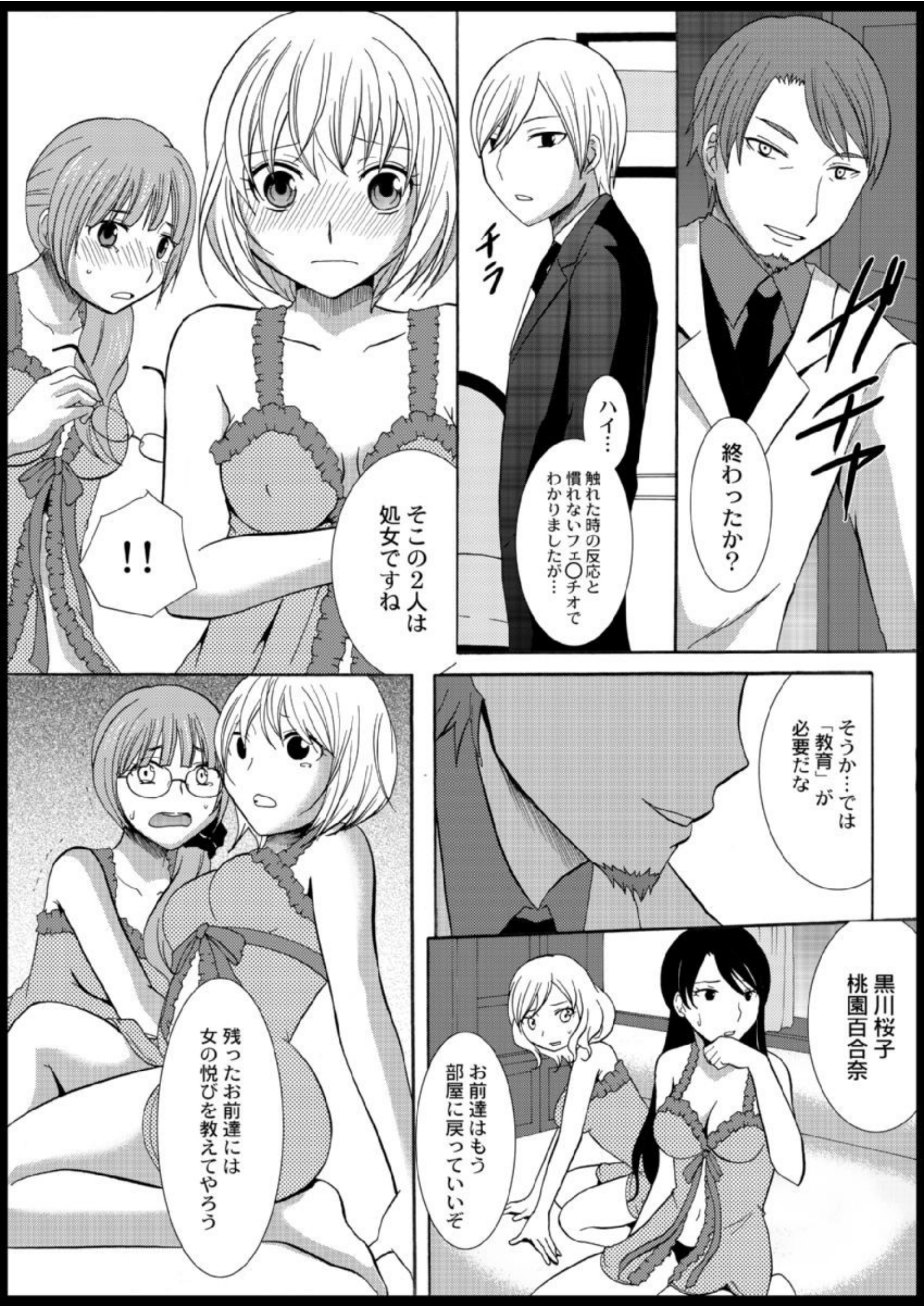
おもちゃ育成島

地獄の選考会

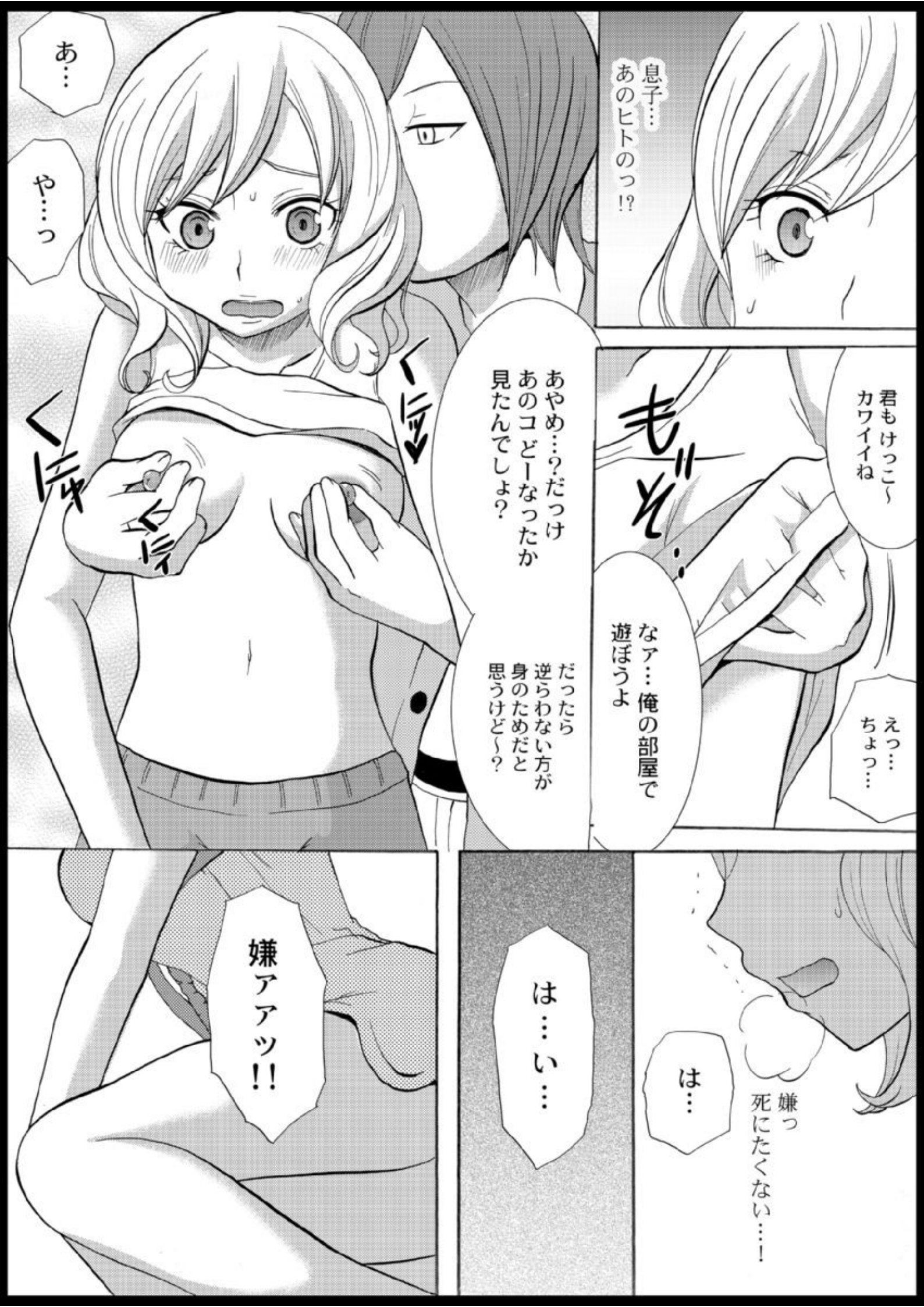
第３話
廃棄処分か処女喪失か

カチャ
カチャ
テストって何…これ以上
何をする気なの…
舐めろ
キャア!!
早くしろ
でっできません!!
お願いですもう
許してください!!
仕方ないな…
ムリッムリです!
お願い…やめ…

ん——!!
ジュポッ
ぐぽっ
ぐぽっ
ん…
んぶう
のど…苦しい…
息できないっ
死んじゃうよォッ…
ん
んっ…ん
ちゅぱっ
ちゅぱっ
れろぉれろ
は…
はむっ…
れろ
ニチャ
バシィッ
キャッ！
チッ！
この女…歯を
立てやがった…
う…
ううっ…


ガチャ
終わったか？
チラ
ハイ…
触れた時の反応と慣れないフェ〇チオでわかりましたが…
そこの2人は処女ですね
!!
そうか…では「教育」が必要だな
黒川桜子
桃園百合奈
お前達はもう部屋に戻っていいぞ
残ったお前達には女の悦びを教えてやろう

小梅…スミレ…無事戻ってきてくれるといいけど…
あ…ゴメン 桜子 ゆりトイレ行きたい 先戻ってて
えっ… 1人で大丈夫なの？
あ～…大丈夫じゃない 今はあの2人にかかりっきりでしょ
は――あ…
ジャー
バシャバシャ
ゆり達 一生ここで性ドレイってカンジなのかなァ…サイアクー…
！
えッ!? なっ…誰っ
ど～も♪ 俺はこの家の息子だよ


息子…
あのヒトのっ!?
君もけっこ～
カワイイね
えっ…
ちょっ…
なァ…俺の部屋で
遊ぼうよ
だったら
逆らわない方が
身のためだと
思うけど～?
あやめ…?だっけ
あのコどーなったか
見たんでしょ?
モミ
そ…
あ…
や…っ
クニュ
クニュ
クニュ
嫌っ
死にたくない…!
は…
は…い…
嫌アアッ!!

いや… いやっっ
来ないで…
もっ… もう
許して
ください～っ
さっきから
騒がしい
女だな…
キーン!!
あがッ
お前 自分の立場
わかってるのか?
使いモノに
ならないなら今すぐ
廃棄処分だぞ
廃…棄…
死……
うっ…ううっ…
ひッ…
ホラ…使える
穴にしてやるから
大人しくしてろ
ぐちゅ…!!

スミ…レ…
ハァ…
ハァ…
ビクッ
うう…っ！
…指はだいぶ慣れてきたな…
くちゅくちゅ
あ…
や…だ…
そろそろいいか…
ちゅぱっ
ね…え…
こ…れ…
セ…セック…ス…なの？
？
今さらだな
う…
うっ…

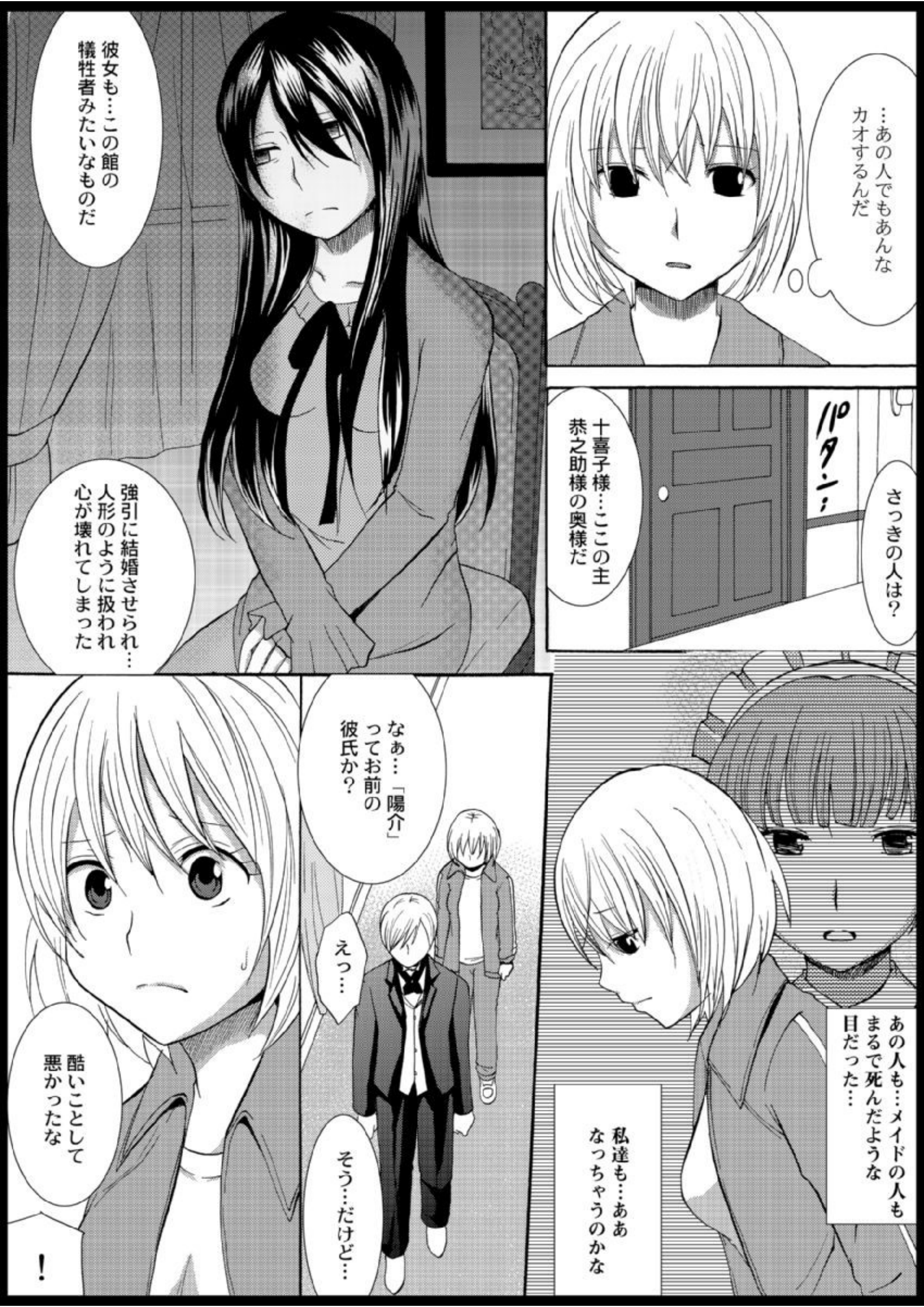
ぐすッ
ぐすッ
ひぐッ
ひう…うう～っ
陽介…っ 陽介とって
決めてたのに…っ
私っ 初めてを
こんなトコでっ…
よ…すけ…
……
ちゃんと…ちゃんと
恋がしたかったのに…
私は 一生…
あの人の人形で
いるしかないの？
奥様…
挿れるぞ…
ひッ…
ビクッ
熱いのが…当たって…
こ…これが…？

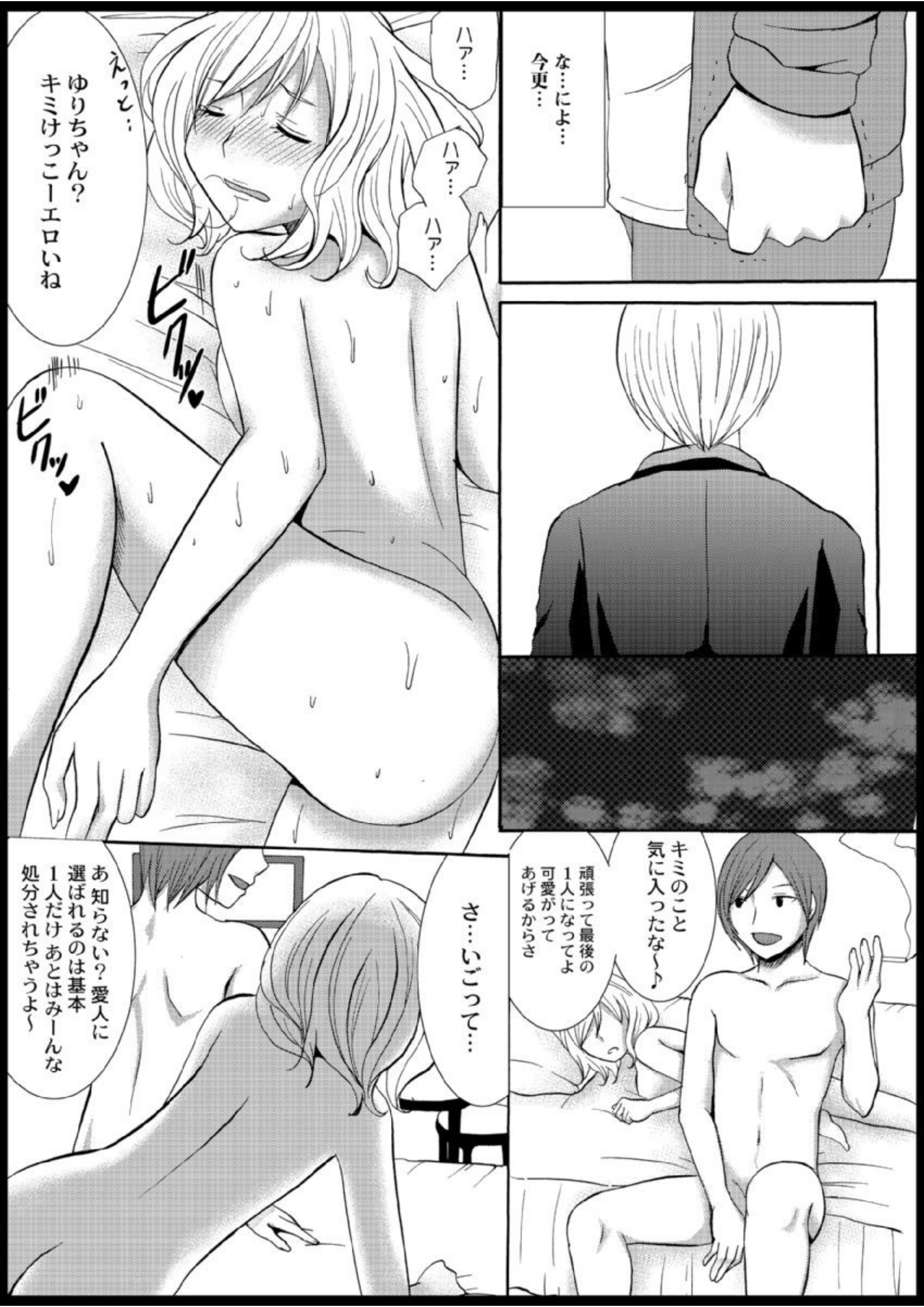
キャアアア!!
!?
痛いのはコッチだ!
クソッ!
もっと尻を
突き上げて
穴を広げろ!
あぐゥ!
痛いィィ!!
痛いよォオッ
死んじゃっ…
あああ——!!
くっ…
っ…
いや…
ああなりたく
ないなら
力抜いてろ…
入って
こないで…

誰か…
助けてエエ!!
陽介…
だれ…か…
助けて…
裂けそうだよ…
う…そ…
入って…る…
っ…
っ…
ズッ…
ズプ…
ブヂュ
ブヂュッ

バイトから帰ってきたら…覚悟しとけよ？
うん…
陽介…
そっちはどうだった
ああ…
こんなことになる位なら…陽介とシたかったな…
まぁ…問題ないだろう
もしもし…2人とも戻ってきてくれ
まだ1人は使えない…ああ全員ですればさすがに慣れるだろ
うぅ…
うぅ…
こっちの女はダメだな…
クソッ…まだアレがヒリヒリする…
うっうっ…
ひぅっ…
ひっく…
どうせなら後ろの穴も使えるように拡張してやるか…

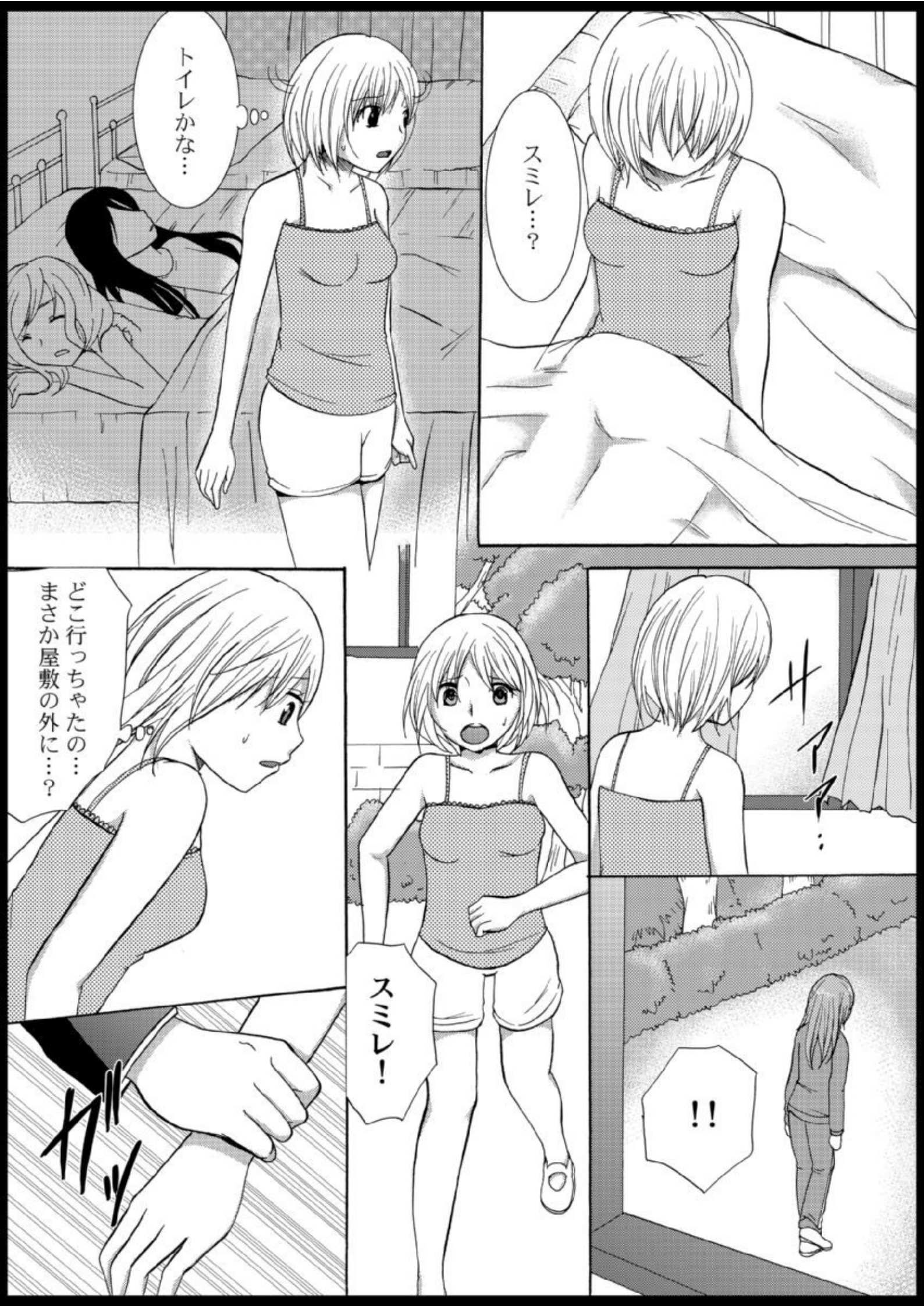
お前は部屋に戻るぞ
ガチャ
痛い…まだ入ってる感じがする…気持ち悪い…
春…日…
十喜子様！どうかされましたか？
…少し…喉が渇いたわ…
何か飲み物をお持ちします
少しお待ちください


…あの人でもあんなカオするんだ
パタン
さっきの人は？
十喜子様…ここの主恭之助様の奥様だ
彼女も…この館の犠牲者みたいなものだ
強引に結婚させられ…人形のように扱われ心が壊れてしまった
あの人も…メイドの人も まるで死んだような目だった…
私達も…ああなっちゃうのかな
なぁ…「陽介」ってお前の彼氏か？
えっ…
そう…だけど…
酷いことして悪かったな
！


な…によ…
今更…
ハァ…
ハァ…
ハァ…
えっと…
ゆりちゃん？
キミけっこーエロいね
ビクッ♥
ビクッ♥
キミのこと
気に入ったな～♪
頑張って最後の
1人になってよ
可愛がって
あげるからさ
さ…いごって…
あ 知らない？愛人に
選ばれるのは基本
1人だけ あとはみーんな
処分されちゃうよ～

生き残れるのは1人ってコト!?
カリ
チャ
百合奈！遅かったじゃない心配したんだから！
あっ…
あ～…ごめん…迷子ンなってた
小梅のあとに帰ってきたスミレが…
ヨブッ
ブッ
皆戻ってたんだ…
うん…でも…
何よ…エッチした位で大げさ過ぎ…

そんな言い方!!
小梅!
スミレもっ…私も初めてだった…のにスミレなんて…何人もの相手にっ何度もっ…
あやめはもっとヒドイ!殺されちゃったんだよ!?
今日は…色々なことがあり過ぎたよね…
皆…とりあえず休もう…
ゴ…ゴメ…ン


スミレ…？
トイレかな…
どこ行っちゃたの…
まさか屋敷の外に…？
スミレ！
!!

追うな
はっ…離して
スミレが…
やめておけ…
ここを出ると
お前まで…
彼女は…諦めろ…
もう…帰るんだァ…
お家に…ァハハ…
橋なんかなくても
大丈夫よォ…
こんな広い島…
どこからでも帰れるわァ…
…連れ戻さなくて
いいんですか？
…承知しました
始末します
早く帰って…
録り溜めしてるアニメ
観なくちゃぁ…
ああ…ママの作った
クリームシチューが
食べたいな～

…バカな女だ
ごめんねェ…みんな
先に帰っちゃうね…
私…ふふ
え…なに
今の音…
バサ
バサ
銃声だ
嫌アアア!!
スミレエエ!!
スミレ!
スミレ――!
行くな!

ああ ああ～～～!!

次の朝… 私達は
スミレが死んだことを
知らされた

受信箱 前へ 次へ
差出人 koume0425@xxxx.ne.jp
返信 全員に返信 転送
陽介…バイト先
なんかおかしいよ
私 無事に
帰れないかもしれない

小梅…!
一体何があったんだよ!
電話も繋がらないし…
クソッ

!
ブブブ

小梅!今どこに…

…誰だ…?

おもちゃ育成島

地獄の選考会

第４話
媚売り女

皆さん
主がお呼びです
チュン…
チュン…
私達は……3人になってしまった
ヤダ…ヤダ…
絶対死にたくない!!
そんなァ…
スミレまで殺される
なんて…
どうぞ
この中へ
!
ハァ…♡
ぴちゃ♡
ん…あむっ♡

やっと来たか？
ハァ…
ハァ…
くーーッ…
御主人様…
早く下さい…♡
しょうがない
淫乱奴隷だな
はァッ♡
あァァんッッ♡
あァんッ♡
もォ…ズルーい…
自分ばっかり…
次は私をお願いします…
御主人様ァ♡
桜子…？

あッ♡
あッ♡
さて…お前達を呼んだのは見学させる為じゃないぞ？
じゃ頑張ってお父様にアピールしてね♪
え…やっ…
お前達が見せる側だ
ちょっ…
ホラ…こっち向けよお前の相手はオレだぞ？
い…や…
ハァ！
ハァ…
そう…ちゃんと腕上げとけよ？
あッ！
やだ…やだァ…
くちゅ
くちゅくちゅ
ヤダとか言って濡れまくってじゃん君のエロま○こ♡

ぬりゅっ
ぱちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
おッ…スゲッ…指に吸い付いてくる…奥もスゴい締まってるな…
あ…ぁ…
今度はアソコ開いてみせろよぶち込んでやるからさ…
い…や…です…
ハァ？
し…したくないわ…私
私…好きな人がいるんだもん！
こんなコトする位なら…いっそ死んだ方がマシッ！
だめッ…小梅…！
！
あッ…
あっ…んァァッ♡
ハァ…
ハァ…
あッ…
あ…
ズプッ
ズプッ
ズッズッ
ズッ

ほぅ…
じゃあゆりが楽しませてあげる～♡
ハァ…
ハァ…
おっ♪さっすがゆりちゃん♡
んぐっ♡
んッ♡
じゅるっ
ちゅうっ
じゅるっ
ちゅぱっ
ハァ…
ハァ…
あのヒトもうイッちゃったから物足りなくて～♡
ハハッ兄貴早いからな～
ホントHだな～ゆりちゃんは♡
ズプッ
んッ…
…でしょー♡

あっ♡ あっ♡
あァ～～ッイィ♡
ハッ
ブチュ
ヌチュ
ヌチュ
ブチュ
おチ○ポ
ズボズボ
キモチ
いいよォ～♡
ハッ
ビク
ビクゥ♡
ドクドクドクッ
あ…熱いチ○ポ汁
注がれてるゥ～♡
あ♡ハッ♡あァ～♡
見てる？ 主さん…
ゆり こんなにHだよ！
合格でしょ!?
あ…
ガタッ
小梅
お前はイイ目を
しているな

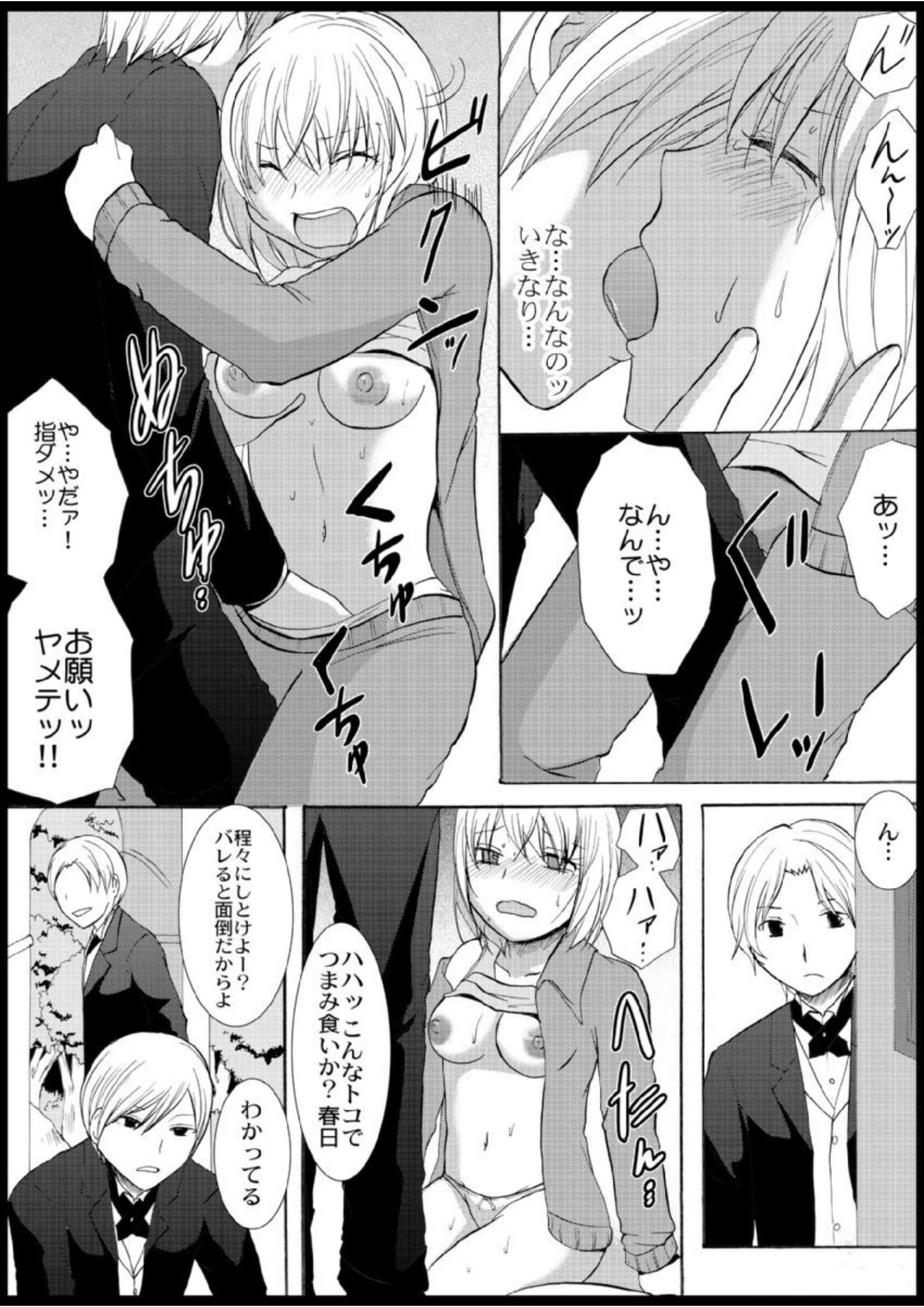
好きでもない男に抱かれる位なら死んだ方がマシか？
ククッ…気に入ったぞ
このままじゃ小梅が選ばれる…
そしたらゆりは…
嫌！ダメッ！なんとかしなくちゃ
ね…百合菜
さっきかばってくれたんだよね
ありがとう
……
何言ってんの！うちら友達じゃん♪

桜子！百合菜！
なんとか皆でココを出る方法を考えようよ！
出るって言ってもそんな事したらスミレみたいに…
出る…か
小梅…小梅…
ん…
ねっ皆で今から脱出しようよ
脱出っ…て！
し――ッ
ゆり…な？

実は昨日迷子になった時
見つけちゃったのよ
この島の地図！
橋を渡らなくても
船着き場に行く
ルートもバッチリ
わかったよォ～♡
ほっ…ほんとに!?
3人で固まって行くと
見つかりやすいから
小梅先に
裏口行ってて！
え…でも…
ほら早くっ
ゆり達もすぐ
くるからッ
わ…わかった
待ってるからね
ん！
もうこんな島とは
おサラバだかんねッ
……
ハ-ー-

ゴメン小梅！
アンタには
悪いケド…
1人しか生き残れ
ないなら…
しょうがない
じゃん！
旦那様 桃園百合菜が
面会を希望されて
おりますが…
ほう…？
通せ
コンコン
なんの用だ？
あ…あの…
小梅のコト
なんですケド…
2人とも…
まだかな…

そこで何をしてる
！
ビクッ
あっ…
まったく…
諦めの悪い…
誰かいるのか!?
ガサッ
あ…の…っ
見つけたのが俺で
良かったな 他の奴に
見つかりでもしたら
んくッ…


ん…
ハァ…ハァ…
へたん
ハハッこんなトコでつまみ食いか？春日
わかってる
程々にしとけよー？バレると面倒だからよ
ん…
な…なんなのッいきなり…
んんーッ
あッ…
ん…や…なんで…ッ
レーレッ
ビクンッ
くちゅ
くちゅ
ぬちゅ
や…やだァ！指ダメッ…
お願いッヤメテッ!!

部屋に戻るぞ
……
小梅が脱走か…
そ…そうなんです～
裏口で待ってるからって
私も誘われたんですケド…
なんかァ…
止めても聞かないしィ…
あのコ
百合菜…
私の嫌いな女を
教えてやろう
嘘をつく女と
下品な女だ
え…と…
どゆイミ…
キミはそうやって
平気で嘘をつくし
セックスも下品だ！
まるで
盛りのついた
豚のようだったぞ

私の愛人に一番ふさわしくない女だ…
連れて行け
ハイ
えッ？
えッちょ…なんでッゆりがウソついてるなんて証拠あんの？ねェ
そんな事どこからでも情報は入る
ねッ…お願い…なんでもするから…
殺さないで…お願い…お願いします
あゆりちゃん

譲二サン！ねッ…
譲二サンからなんとか言ってよ？
ゆりのコト気に入ってくれてたよねっ
ああ 処分なの？
残念だね～
イヤー！イヤー！殺さないで！死ぬのは…
死ぬのだけはイヤァア!!
そんな…の
イヤアアア!!
…こんな時までやかましい女だな

!!
なっ…なんでアンタ…
…お前みたいな女が一番ムカツクんだよ
ギャッ…
いい…だい…あ…うぅ…
イヤアァア!!
…死ねよブタ女
待ッ…せめて顔だけはヤメテェェ!!
うぶオウッッ!!

あぁッ
っ……
……
ガシャ
…？
今…何か
聞こえたような
おやこんな所に
いましたか
蒼井小梅さん
旦那様が
お呼びです
え…
でも…百合菜達が
早く行った
方がいいぞ…
……

ガチャ
…失礼します
…待っていたぞ
桜子…！
百合菜は…？
な…なんで
小梅…
！
はァッ
…百合菜は…
死んだ女の話など
どうでもいいだろう？

しん…
だ…
さぁ最後のテストを始めるぞ？
こっちに来い小梅
なに…何言ってるの…よ
人殺し…
言う事聞いて！小梅
桜子…
もう…死んだ方がマシなんて言わないで
小梅まで失ったら私…私…
……

ゴメンね…
小梅…
あっ…
では…2人で
奉仕して
もらおうか
ハ…イ
！
れろオ…
小梅も…早く…
ハァ…
ん…
もう…従うしか…
ないんだ…
ジュポッ

おもちゃ育成島

地獄の選考会

第５話
知りたくなかった真実

ハァ…
ちゅうう
ジュル…
ぬるっ
ハァ…
ぬるっ
ヂュルッ
桜子 お前は
もういい
小梅
来い
いっ…やあ!!
挿入れるの…
挿入れるのだけは
ヤメッ…て…!!
ぐぐぐっ
えっ…
桜…子
ばっ
っ……!
ズッ!!

お前の膣内(なか)悪くないぞ？
あ
あ…
桜子ッ!?動かさない…でッ
いやァァッ奥ッ…苦し…
ジュプッ
裂けちゃっ…もっイヤァァ!!
ズブッ
あッう…!?
そんなに膣を締めて…もっと欲しいのか？
ビクッ
あンッ…♡
ほう…乳首が感じるのか
ぐっ…
んん〜〜ッ♡

んん～ッ!!
んふぅウウッ!
ぴくぴくッ
ぜぇろぉッ
ちゅぱ
ちゅぱッ
ぴくん♥
そうか…そんなにイイか…甘い声まで出して
……
ちがっ…
あぅ…んんっ♡
はっ…あ…
えッ…?
あっ!?
何ッ 何かヘンッ
ヘンになりそう
だよォ!
ズゴッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
イキそうか? 小梅
あ…う…イ…キ?
いいぞ…イけ…
嫌なのにィ…
ああッあああぁんッ!!
おかしくなりそうっッ!!
ぴくっ
ぴくっ
あ…
あ…は…っ

はっ…
あ…
はっ…
フ…可愛い奴だ…
ますます気に入ったぞ…小梅…
ズッ
ズッ
ズッ
ドッ
ドッ
ドッ
おっ…お願いします！それだけはッ！中だけはダメェェ！
可愛いお前の中にたっぷり注いでやるぞ！
えっ!?だッあっ…
ズッチュッ
ズッチュッ
ズッチュッ
小梅…
ドクゥゥ
だめエエエ!!

桜子…ゴメンね…
一緒に逃げられくて…
そうだよね…桜子も
ツラいよね…
でも…もうムリだ…
こんなコトされて…
私もう帰れない…
ビクッ…
おめでとうございます
小梅様
貴女は恭之助様の
愛人に選ばれました
本日は小梅様の
歓迎パーティーです
しばらくここで
待機してください
待ってよ！
桜子に会わせて！
失礼します
……
桜子は…
待っ…桜子！
桜子どうしたのよォ!!

ガチャ
うるさいわね…
聞こえてるわよ
憧れのメイド服
着れて
よかったわね…
似合ってるわよ
小梅…
桜子！無事で
良かった…
じゃあ
桜子も…
そう…
恭之助様の
愛人よ
ずっと前からね
え…？
驚いた？
最初にアンタ達を
バイトに誘ったのも
恭之助様に
命令されたからよ…

島の館で日給3万円のバイト？
そんな胡散臭いバイトあるワケないじゃない
なのに信じてノコノコついて来てバッカみたい
そっそんな…
じゃあ…桜子のせいで皆…
人聞き悪い事言わないでよ
アイツらが勝手にヘマしただけでしょ
まっ…アンタは最後までよく頑張ったわ
っても今ここでアタシに殺されるんだけど
!!
キャアア!!

そうよ
！
百合菜…
まさか桜子が
私が殺したの
おっかしかった～
まるでブタの
悲鳴だったもの
さ…桜子…
どうして…
それとも百合菜
みたいにぐっちゃ
ぐちゃにされたい？
じっとしててよ…
そしたら苦しまないで
殺してあげるからさァ

ひどい…ひどい!!
私達…友達だと思ってたのに!
うるさい!うるさい!
私には恭之助様だけいればいい!!
お前らなんて最初から友達なんて思ってないんだよ!
命令だから仕方なく連れてきたけど…ホントは嫌だった!
愛人は私だけでいい…他のメイド供もぶっ殺してやりたいよ!
お前が恭之助様に抱かれるのがどんなに悔しかったか…!
だから死ね!!小梅!
っ…

ドッ…
…？
春日…さん…
ドガッ
あぐッッ！
逃げるぞ！
この館から出るんだ！

ああ…
恭之助様…
ハァ♥
ハァッ
気持ちい…ッ♡
ずっと…こうして
いたいですっ…
あ…あ♡ 恭之助様…♡
プウッ
ブチュ
愛してますッ♡
恭之助様ァ♡
あッはぁ♡
ブチュ
ズッ
ズッ
ポオッ
私には貴方だけ…
一生性奴隷として
ついて行きますゥ♡♡
そう…貴方にも
私だけいればいい
あ…♡
フラ…
だから…絶対
逃がさない…小梅…
ハァ
ハァ…
ハァ…

くっ…
春日さん…血ッ…！
手当てしないと！
…そんなヒマは無い
…？
なんだ…この匂い…
なっ…！
ゴオオオ
!!

火事…っ
どうなってんだよコレッ！
誰がこんな！
キャアアッ
キャアアッ
待っ…置いてくなよ～っ
離せよ！ブタジャマだ!!
ぐはアッ
こっ…こんな事をしてどういうつもりだ！
ゴオオオ
十喜子!!

トプ
もう…私限界なんです…こんな生活…
あの世でもう一度やり直しましょう…あなた…
ゴオオオオオ
ギャアアアア!!
くっ…こっちもダメか火の手が早い!
見ィつけた♡
!!
チッ…フットマンなんか味方につけやがって…
純情そうな顔してヤる事ヤってんなァこの売女が!
2人仲良く死んじまえ!!

ひあッッ!!
桜子…
構うな!
絶対…絶対
逃がさないぞォ!
小梅ェ!!
どこまでも
追いかけてやる!!
窓から出るぞ!
橋を渡らなくても
船着き場までは
別のルートがある
百合菜が
言ってた通りだった
んだ…
ハァ…
ハァ
くそっ…
意識が…
火を放ったのは
十喜子様だろう…
そして…あの人は
きっと もう…

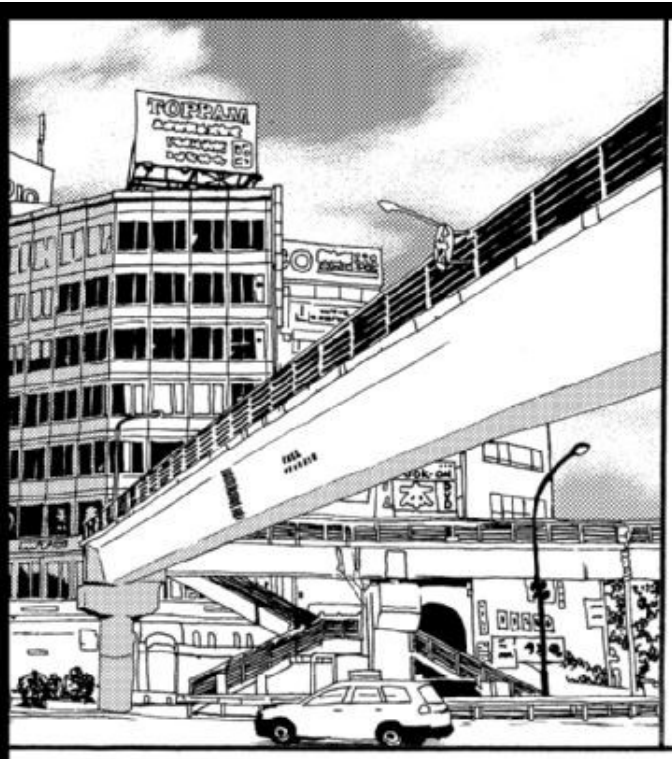
えっ…
こ…小梅…
陽…介…
よかった！無事で…
俺っ…ずっと…
ずっと心配で…
でも…どうして
ここが？
それは小梅の
携帯から
連絡が…
小梅
これを返しておく

私の…
地下室で拾っておいた
小梅…お前は俺に似てる
だから…救いたいと思った…
ポタ
ポタ
俺も愛する人と居たいんだ…
たとえこの身がどうなろうとな…
後は帰れるなじゃあな…
春日さん！ダメだよ！そんな体で…
私達と一緒にここを出よう！
春日さん…
帰ろう…小梅

私は…ついに
島を出た

私…ただ
1人が…

数ヶ月後



おまたせ

事情聴取も終わって
やっと落ちついたな…

うん…

まさか小梅達が誘拐されるなんて…

あの時俺が行かさなければ…

その話はもう…

いいよ…

あの島の事件は一時世間を騒がせた

行方不明者もいて今でも誰が生き残ったのかはわからないまま…

春日さんはどうなってしまったんだろう…

桜子は…

陽介…ありがとう
ねェ！いいバイトがあるんだけど一緒にやらない？
ビクッ
時給3千円で～自由出勤だって！
キャハハハ
何ソレ超あやし～
小梅？
ホッ…
なんでやろーよー
やーだァ
…なんでもない
もうすぐ冬休みだね

おもちゃ育成島
～地獄の選考会～
成年版

作画：綾乃るみ
発行：ゴリラ堂

本作品の無断転載・複製等は
例外を除き著作権法により禁止されています。